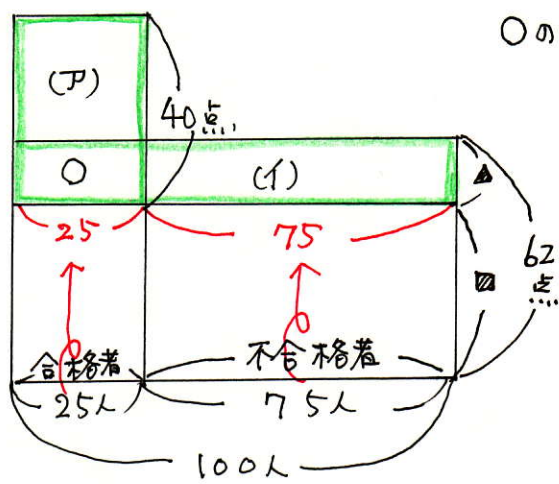


5年(上)第14回 例題の解説

例題3

ある中学校の入学試験を100人が受験して、そのうちの25人が合格しました。この試験の受験者全体の平均点は62点で、合格者の平均点と不合格者の平均点の差は40点でした。このとき、合格者の平均点は何点でしたか。

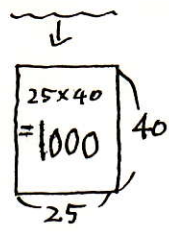
(角平1)



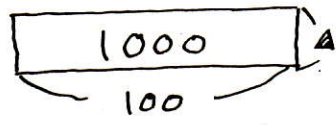
不合格者の人数は
 $100 - 25 = 75$ (人)
 不合格者の平均点を Δ 点とします。

Oの部分をも(P)と(Q)につけて考えます。

$(P) + O = (Q) + O$



すると $(Q) + O = 1000$



$\Delta = 1000 \div 100 = 10$ (点)

すると $\Delta = 62 - 10 = 52$ (点)

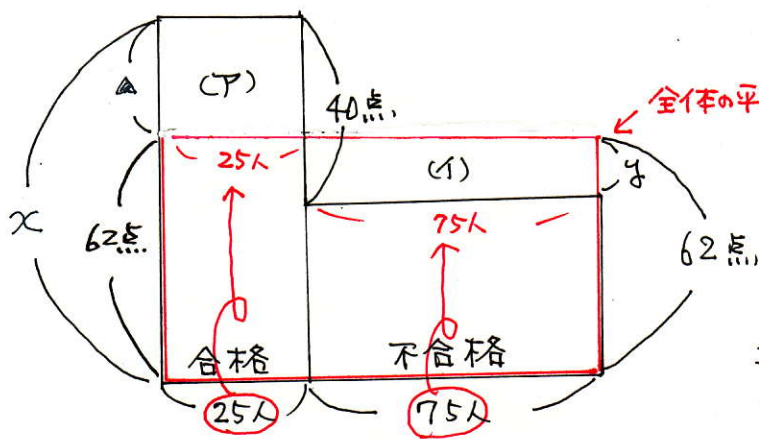
↑
不合格者の平均

(P)から合格者の平均点は、

$52 + 40 = 92$ (点)

92点

(角平2) $\frac{ひ}{こ}$ の学習をした後は下のように解くこともできます。



(P)と(Q)の横の長さの比は

$25 : 75 = 1 : 3$

(P) = (Q) であるから

(P)と(Q)のたての長さの比は逆比になりますから。

$\frac{1}{1} : \frac{1}{3} = 3 : 1$

ここで(P)と(Q)のたての長さの合計が40点であるから3:1に比例配分します。

$\Delta = 40 \div 4 \times 3 = 30$ (点)

($\Delta = 40 \times \frac{3}{4}$ である)

↓

合格者の平均点 x は

$30 + 62 = 92$ (点)

92点

